

「てとてとてとてとて」by マリア © 2026 STAND Still All Rights Reserved

防府市地域交流センター
アスピラート 1F 市民ギャラリー

防府市戎町1-1-28
JR山陽本線「防府駅」北口から東に徒歩1分
防府駅周辺の有料駐車場をご利用ください

主催　STAND Still 山口
協力　防府市文化協会 / STAND Still / STAND Still 東京　助成　公益財団法人 山口きらめき財団 YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

性暴力を生き延びてきた人たちが「思い」を写すプロジェクト

STAND Still 山口 - 性暴力サバイバー ビジュアル ボイス

2026年度 写真ワークショップ参加者募集！

2026年12月19日
2027年　1月16日
2月20日

全3回　参加費 2000円

いずれも土曜13:30〜15:00

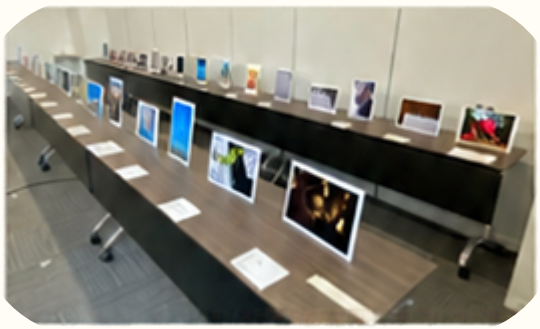
会場は申込者のみにお伝えします
オンライン参加OK！スマホで撮影可

申込用
2次元コード



あなたにしか
撮れない写真があるよ！

おおやぶ のぶこ
講師　大藪 順子氏
フォトジャーナリスト
STAND Still 創立者



ワークショップで生まれた作品の展示
（2025年 KDDI維新ホール2F）

シカゴのコロンビア大学フォトジャーナリズム科卒業後、米国の新聞社で専属写真家として勤務。写真プロジェクト「STAND：性暴力サバイバー達」がアメリカでテレビドキュメンタリーとなった後、全米と日本で展示会と講演会を展開。横浜、東京などで写真ワークショップ講師を務める。現在、山口大学大学院 医学系研究科 法医学講座で「非言語表現(写真)を用いたメンタルヘルス支援の可能性を探る研究」を行う。著書『STAND 立ち上がる選択』ほか。

団体 STAND Stillについて

大藪順子氏が始めたプロジェクト「STAND Still」性暴力サバイバービジュアルボイス」の参加メンバーが2020年に立ち上げた団体。サバイバーが思いを安全安心に表現できる場を提供するため、各地でワークショップやイベントを企画・運営している。当事者の世界を内側から可視化する作品群は国内外で巡回展示中。

公式HP

プロジェクト参加者の声

「こんな活動は県内になかったので、とても嬉しい！」
「被害の話はしてもしなくても自由。安心して参加できます」
「写真で気持ちを表現できてエンパワメントしました」etc.

STAND
WE BELIEVE Still
Yamaguchi

このプロジェクトは治療やカウンセングではないことをご了解の上、
サバイバーの表現活動の選択肢の一つとしてご検討いただけると幸せます。

お問い合わせ：STAND Still 山口 事務局　standstillyamaguchi@gmail.com

ーこの事業は山口きらめき財団の助成金を活用していますー